●TVが映らない、または映りが悪いときは

状　態	点　検	処　置
すべてのチャンネルが映らない	電源スイッチが「切」になっていませんか?	電源スイッチを「入」にしてください。
BS(110度CS)のチャンネルが映らない・映りが悪い	BS・110度CSアンテナの取付方法・取付角度が悪くありませんか?	アンテナの「施工説明書」に従って、正しく取り付けてください。
	BS・110度CSコンバータ電源スイッチが「切」になっていませんか?	BS・110度CSコンバータ電源スイッチを「入」にしてください。
UHFチャンネルの映りが悪い	テレビ塔の近くなどで電波が強すぎませんか?	アッテネータスイッチを「入」にしてください。
	UHFの利得調整ボリュームの設定が間違っていませんか?	入・出力レベルを確認して、適切なレベルに調整してください。

■製品には寿命があります。… 安全にご使用いただくために、年１回の点検をおすすめします。

使用環境の影響、または製品の劣化などにより、正常に動作しなくなったときは、製品の寿命です。
施工後、定期的に点検いただき、特に安全にかかわる下記の症状が見られたときは、使用を中止し、施工店にご相談ください。

施工日(入居日)　　年　　月　　日

点検表

点検事項	点検年月日・点検者・点検結果（有・無を記入）									
製品が異常に熱い										
こげくさい臭い										
変色、変形がある										

●仕様

項目＼伝送周波数帯域[MHz]		CATV上り	CATV下り	UHF	BS/CS-IF
		10(30)※2～60	70～770	470～710(770)	1000～2602
伝送チャンネル数		4波	74波	9波	36波
定格出力レベル[dBμV]	総合	110	82	80	82
	増幅回路部(参考値)	(110)	(95)	(93)	(100)
適正入力範囲[dB] ※1		—	—	54～65(85)	54～65(80)
利得[dB]	総合	4以上	12以上		9以上
	増幅回路部(参考値)	(20相当)	(30相当)		
通過帯域損失(パス設定時)[dB]		—	23.5以下		—
利得調整量[dB]		0～−10以上(連続可変)			0～−15以上(連続可変)
アッテネータ量[dB]		—	0、−10切換		—
チルト調整量[dB]		—	6 dB/70 MHz ※3	—	—
雑音指数[dB]		20以下	10以下		7以下
2次相互変調[dB]		−60以下		—	—
3次相互変調[dB]		—	—	−68以下	−59以下
複合3次歪(CTB)[dB]		—	−60以下	—	—
混変調[dB]		—	−56以下	—	—
ハム変調[dB]		−60以下			−50以下
電圧定在波比		2.5以下			
入出力インピーダンス[Ω]		75			
電源		AC 100 V 50 Hz/60 Hz			
コンバータ供給電圧		DC 15 V(最大4 W)			
定格消費電力		11 W(コンバータ電源4 W供給時)			
寸法		H200 mm×W100 mm×D52.5 mm			

※1　適正入力範囲の(　)内は利得最小時、入力アッテネータ入時を記載。ただし、BS-IF/CS-IFは利得最小時の値を記載
※2　上り帯域切換時
※3 770 MHzを基点とした70 MHzでのチルト量
●本製品の使用については、CATV会社様のご確認が必要です。
●110度CSデジタル放送の右旋円偏波受信に対応しています。

アフターサービス　パナソニック お客様ご相談窓口のご案内

■使い方・お手入れ・修理などは、まず工事店へご相談ください。／相談先でお困りの場合は、以下のお客様ご相談窓口にご相談ください。

●使いかた・お買い物
などのご相談は
パナソニック 総合お客様サポートサイト
http://panasonic.co.jp/cs/

●修理・部品
などのご相談は
パナソニック エコソリューションズ 修理サービスサイト
http://sumai.panasonic.jp/support/repair/

パナソニック お客様ご相談センター

365日
受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**
携帯PHS OK
※携帯電話・PHSからもご利用になれます。

音声ガイダンスを短くするには、案内が聞こえたら電話機ボタンの
「87」と「640#」を押してください。
(番号を押しても案内が続く場合は、「米」ボタンを押してから操作してください。)

■上記番号がご利用いただけない場合
06-6907-1187
■FAX　フリーダイヤル
0120-878-236
Help desk for foreign residents in Japan Tokyo (03)3256-5444 **Osaka** (06)6645-8787
Open:9:00 - 17:30 (closed on Saturdays/Sundays/nationalholidays)
※上記の内容は、予告なく変更する場合があります。ご了承ください。

パナソニック エコソリューションズ 修理ご相談窓口

ナビダイヤル
(全国共通番号)
0570-081-365
全国どこからでも市内通話料金でご利用いただけます。365日／受付9時～20時

ただし、携帯電話・PHS・IP/ひかり電話などは下記の電話番号へおかけください。
大阪☎06-6906-1090
札幌☎011-261-6401(転)　名古屋☎052-551-7900(転)
東京☎03-5392-7190(転)　福岡☎092-622-0531(転)
※(転)印は大阪へ自動転送になり、拠点から大阪までの転送通信料は弊社負担です。

※電話番号、受付時間などが変更になることがあります。

ご相談窓口における お客様の個人情報の お取り扱いについて

パナソニック株式会社およびグループ関係会社は、お客様の個人情報をご相談対応や修理対応などに利用させていただき、ご相談内容は録音させていただきます。また、折り返し電話をさせていただくときのために発信番号を通知いただいております。なお、個人情報を適切に管理し、修理業務等を委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者に開示・提供いたしません。個人情報に関するお問い合わせは、ご相談いただきました窓口にご連絡ください。

パナソニック株式会社　パワー機器ビジネスユニット
〒514−8555　三重県津市藤方1668番地
© Panasonic Corporation 2012

8A3 F28 0000 1
DC0612DC0

Panasonic

取扱説明書

マルチメディアポート用
双方向CATV/UHF・BS・110度CSブースタ(8分配機能付)

品番　WTJ6518

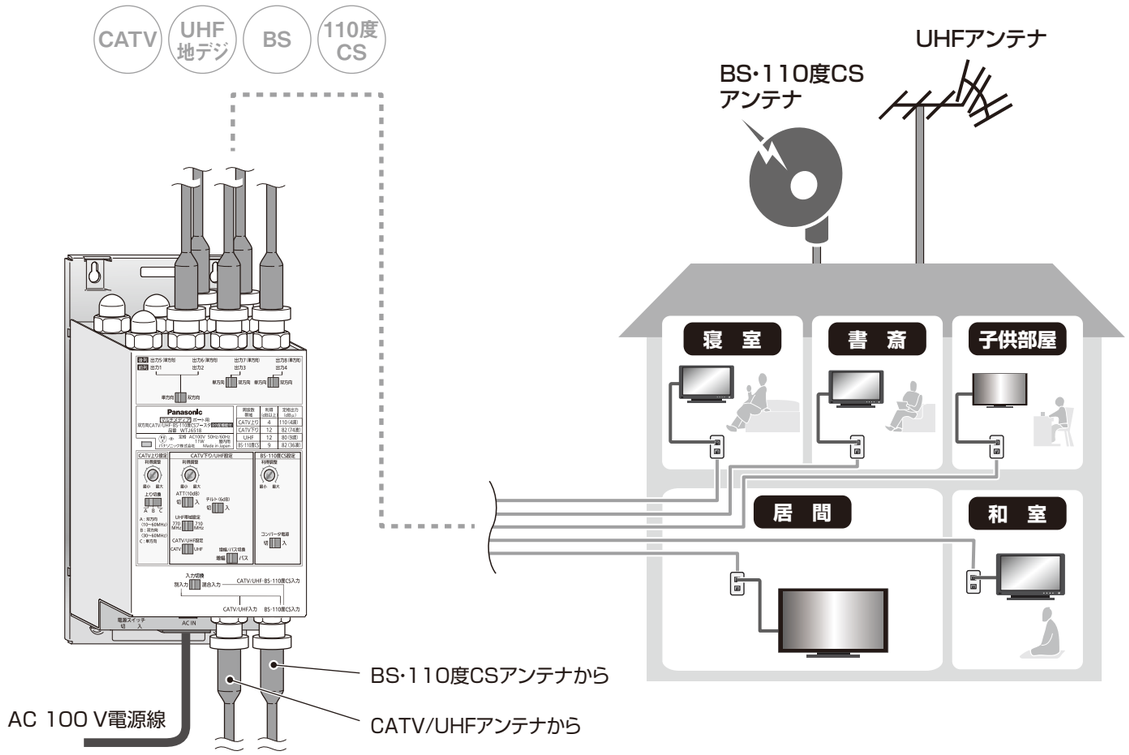
■このたびは、パナソニック製品をご採用いただきまして、まことにありがとうございます。
■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。お読みになったあとは、大切に保管し、必要なときにお読みください。

双方向CATV/UHF•BS•110度CSブースタの特長

1　1台でUHF、CATV、BS/110度CS、光ファイバを利用したテレビサービスなどの各種サービスに対応
●アンテナ接続やご契約に応じて各種サービスが利用できます。
ご注意　※スカパー! HDはご利用できません。
ご利用いただく場合はブースタに接続せず、ご視聴になる部屋のコンセントに接続してください。

2　双方向通信対応で、CATVインターネットも利用できます。
●双方向通信では、前列4端子で双方向へ切換をします。

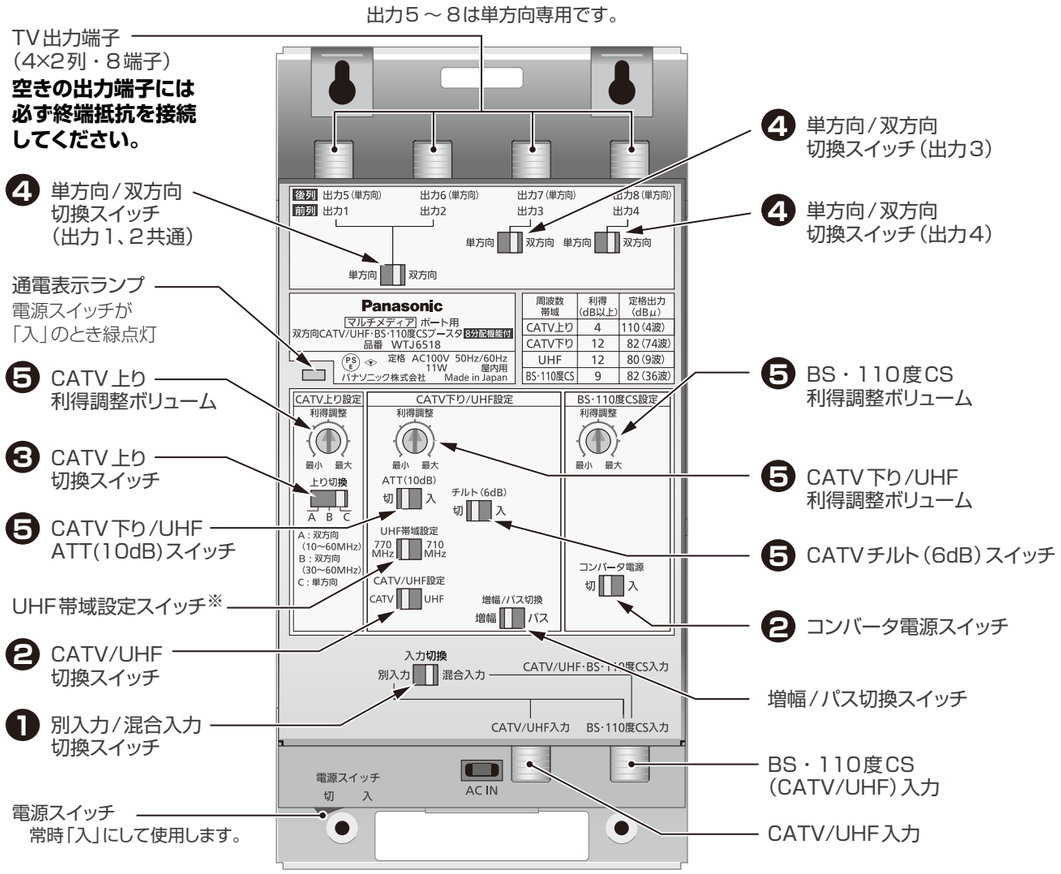
3　分配機能付で、8分配まで利用できます。
●信号増幅と分配機能を組み合わせたブースタです。分配器を使わずに複数のお部屋で利用できます。



●この製品の故障・不具合・誤動作により、通信できずに生じた損害などの純粋経済損害に対しましては、当社では一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

各部のなまえと設定方法

ご注意 ●本製品を設置しても、デジタル放送受信器に表示される「アンテナレベル」や「受信レベル」の数値（指標）が変わらない場合、また下がる場合がありますが、製品の不具合ではありません。
※「アンテナレベル」や「受信レベル」はアンテナの方向調整を目的とした機能で、受信CN比の換算値を表しています。電波の強さを表すものではありません。



※ご使用いただくときは、770 MHzで使用してください。
将来的には、現在使用している周波数が変わります。UHF帯域設定スイッチを710 MHzへ切り換えてください。(2012.7月現在)

CATVをご使用の場合

❶ 別入力/混合入力切換スイッチを入力信号線別（混合/別入線）に設定する　別入力 混合入力
注）BS・110度CSをアンテナ入力する場合は、別入力にしてください。

❷ CATV/UHF切換スイッチを「CATV」にする　CATV UHF

❸ CATV上り切換スイッチを

▶ **TVサービスでご利用の場合**
「単方向C」にする　上り切換 A B C

▶ **インターネットなどの双方向サービスでご利用の場合**
CATV会社のサービスに合わせてA、Bどちらかにする
A：双方向（10～60 MHz）
B：双方向（30～60 MHz）　上り切換 A B C

❹ 出力端子1～4の単方向/双方向切換スイッチを

▶ **TVサービス機器を接続する場合**
「単方向」にする　単方向 双方向

▶ **双方向機器を接続する場合**
「双方向」にする　単方向 双方向

❺ 利得調整ボリュームやスイッチをレベルメーターやTV画像を見ながら調整する
※左記の「調整方法」をご覧ください。

アンテナをご使用の場合

❶ 別入力/混合入力切換スイッチを入力信号線別（混合/別入線）に設定する　別入力 混合入力

❷ ▶ **UHFを受信の場合**
CATV/UHF切換スイッチを「UHF」にする　CATV UHF

▶ **BS・CSを受信の場合**
コンバータ電源スイッチを「入」にする　切 入

❸❹ 設定不要

❺ 利得調整ボリュームやスイッチをレベルメーターやTV画像を見ながら調整する
※左記の「調整方法」をご覧ください。

光ファイバをご使用の場合

❶ 別入力/混合入力切換スイッチを「混合入力」にする　別入力 混合入力

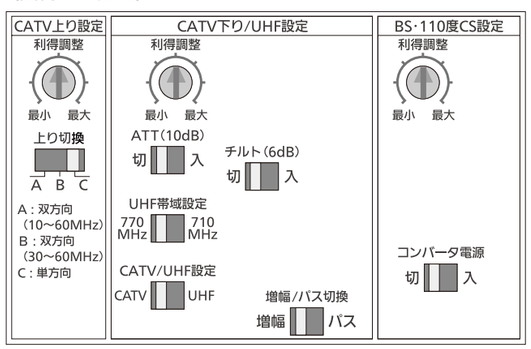
❷ CATV/UHF切換スイッチを「CATV」にする　CATV UHF

❸❹ 設定不要

❺ 利得調整ボリュームやスイッチをレベルメーターやTV画像を見ながら調整する
※左記の「調整方法」をご覧ください。

調整方法　アッテネータスイッチ利得調整ボリューム

〈出荷時の設定〉



鮮明な映像を得るためには、テレビターミナルの出力レベルが54 dBμ以上になるよう、利得調整が必要です。

CATV/UHFの場合

ブースタの入出力レベルを確認して、適切なレベルに調整してください。

●入出力レベルが大きすぎるとテレビ画面にモザイク状のノイズが入ることがあります。
注）UHF帯レベルが大きすぎると、BS帯に影響することがあります。

●入力レベルが適正入力範囲の上限値を超える場合は、ATT（10 dB）スイッチを「入」にして利得調整ボリュームを調整してください。それでも上限値を超える場合は、増幅/パス切換スイッチを「パス」に設定してください。

●同軸ケーブルでの高域の減衰が大きい場合は、チルト（6 dB）スイッチを「入」にしてください。

BS・110度CSの場合

BS・110度CSアンテナの設置後、アンテナのコンバータ部にブースタから電源を供給する場合は、コンバータ電源スイッチを「入」にしてください。

双方向CATVブースタ接続確認済CATV会社一覧（2012年7月現在）

株式会社ジュピターテレコム（J-COM）（全国）※
旭川ケーブルテレビ株式会社（北海道）
青森ケーブルテレビ株式会社（青森）
岩手ケーブルビジョン株式会社（岩手）
株式会社遠野テレビ（岩手）
水沢テレビ株式会社（岩手）
宇都宮ケーブルテレビ株式会社（栃木）
佐野ケーブルテレビ株式会社（栃木）
テレビ小山放送株式会社（栃木）
入間ケーブルテレビ株式会社（埼玉）
行田ケーブルテレビ株式会社（埼玉）
ケーブルテレビJCN埼玉株式会社（埼玉）
狭山ケーブルテレビ株式会社（埼玉）
蕨ケーブルビジョン株式会社（埼玉）
株式会社JCN船橋習志野（千葉）
株式会社千葉ニュータウンセンター（千葉）
イッツ・コミュニケーションズ株式会社（東京、神奈川）
JCN大田（東京）
株式会社JCNコアラ葛飾（東京）
株式会社ケーブルテレビ足立（東京）
株式会社ケーブルテレビジョン東京（東京）
多摩ケーブルネットワーク株式会社（東京）
株式会社多摩テレビ（東京）
東京ケーブルネットワーク株式会社（東京）
豊島ケーブルネットワーク株式会社（東京）
日野ケーブルテレビ株式会社（東京）
株式会社JCN横浜（神奈川）
湘南ケーブルネットワーク株式会社（神奈川）
浜松ケーブルテレビ株式会社（静岡）
LCV株式会社（静岡）
株式会社テレビ松本ケーブルビジョン（静岡）
株式会社アイ・シー・シー（愛知）
株式会社CAC（愛知）
知多メディアスネットワーク株式会社（愛知）
知多半島ケーブルネットワーク株式会社（愛知）
豊橋ケーブルネットワーク株式会社（愛知）
スターキャットケーブルネットワーク株式会社（愛知）
西尾張シーエーティーヴィ株式会社（愛知）
ミクスネットワーク株式会社（愛知）
株式会社アイティーヴィー（三重）
伊賀上野ケーブルテレビ株式会社（三重）
株式会社シー・ティー・ワイ（三重）
株式会社ZTV（三重）
株式会社アドバンスコープ（三重）
株式会社新川インフォメーションセンター（富山）
射水ケーブルネットワーク株式会社（富山）
高岡ケーブルネットワーク株式会社（富山）
となみ衛星通信テレビ株式会社（富山）
金沢ケーブルテレビネット株式会社（石川）
株式会社テレビ小松（石川）
福井ケーブルテレビ株式会社（福井）
株式会社嶺南ケーブルネットワーク（福井）
株式会社ベイ・コミュニケーションズ（大阪・兵庫）
株式会社テレビ岸和田（大阪）
株式会社甲賀ケーブルネットワーク（滋賀）
株式会社明石ケーブルテレビ（兵庫）
BAN-BANテレビ株式会社（兵庫）
姫路ケーブルテレビ株式会社（兵庫）
岡山ネットワーク株式会社（岡山）
株式会社倉敷ケーブルテレビ（岡山）
株式会社中海テレビ放送（鳥取）
日本海ケーブルネットワーク株式会社（鳥取）
山陰ケーブルビジョン株式会社（鳥取）
株式会社アイ・キャン（山口）
Kビジョン株式会社（山口）
株式会社テレビ鳴門（徳島）
宇和島ケーブルテレビ株式会社（愛媛）
株式会社ハートネットワーク（愛媛）
高知ケーブルテレビ株式会社（高知）
株式会社メックケーブレッジ（福岡）
株式会社ケーブルテレビジョン島原（長崎）
大分ケーブルテレコム株式会社（大分）
株式会社ケーブルメディアワイワイ（宮崎）

（記載以外にも確認済の会社がある場合がありますので、必要に応じてお問い合わせください。）

※ご使用に際しては事前に株式会社ジュピターテレコム様までご連絡ください。